



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 エア・ウォーター株式会社
代表者名 代表取締役会長 豊田 昌洋
(コード：4088、東証第一部・札証)
問合せ先 広報・IR室長 松井 俊文
(TEL 06 - 6252 - 3966)

持分法による投資損失、業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期通期連結決算において持分法による投資損失（営業外費用）を計上することになり、平成 27 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期通期の連結業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせいたします。尚、損失発生につきましては限定的であり、将来の成長路線に影響を及ぼすものではございません。また、当社は、平成 28 年 4 月 28 日開催の取締役会において、下記の通り平成 28 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資損失の内容

(1) 損失発生の理由

当社の持分法適用会社である株式会社シーケム（新日鉄住金化学株式会社 65%、エア・ウォーター株式会社 35%）は、原油価格急落に伴い、事業環境が悪化しており、加えて同社の中国子会社において、中国経済の減速の影響による市況の悪化を受け、当期にて株式の減損処理を行うことになりました。

(2) 損失金額

当社は、平成 28 年 3 月期通期連結決算において同社の持分法投資損失として 64 億円を計上することになりました。

尚、平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間において同社の持分法投資損失として、すでに 12 億円を計上しております。

2. 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	億円 7,000	億円 400	億円 420	億円 230	円 117.43
今回修正予想(B)	6,606	395	350	201	102.68
増減額(B)－(A)	△394	△5	△70	△29	△14.75
増減率(%)	△5.6%	△1.3%	△16.7%	△12.6%	△12.6%
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	6,605	361	381	207	105.75

上記の予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等につきましては記載の予想数値と異なる可能性があります。

平成28年5月13日に平成28年3月期通期連結決算の業績を開示いたします。

3. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年2月10日公表)	前期実績 (平成27年3月期)
基準日	平成28年3月31日	同左	平成27年3月31日
1株当たり 配当金	14円00銭	14円00銭	15円00銭
配当金の総額	2,745百万円	—	2,941百万円
効力発生日	平成28年6月29日	—	平成27年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 当社は、剰余金の配当等については、法令に別段の定めがある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議により定める旨を定款に定めております。

(2) 理由

当社は、かねてより全天候型経営とねずみの集団経営を推進することにより、経営における安定性と成長性の両面において環境変化にも耐えうる経営体質を構築してまいりました。そのようななか、この度の投資損失の計上は、当社の業績に一時的な影響をもたらすこととなりましたが、産業ガス関連事業を始め、5つのセグメントは成長軌道を堅持しつつ、成長戦略を着実に実行に移しております。また、当社は、中長期的な成長のための戦略的投資等に必要な内部留保の充実に留意しつつ、連結当期純利益の30%を配当性向の目標として、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行うことを基本方針としております。

こうした経営状況および基本方針に沿って、当期の期末配当金につきましては、直近の期末配当予想の通り 1 株当たり 14 円にすることといたしました。これにより、中間配当金とあわせた年間配当金は 1 株当たり 28 円になります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	14円00銭	14円00銭	28円00銭
前期実績(平成27年3月期)	13円00銭	15円00銭	28円00銭

以上